

企画展「頼山陽と九州」を開催します！

ここに注目

- 頼山陽の九州遊歴から200年を記念し、彼の人生の転換点となった九州の旅をたどります。
- 九州で生み出された代表作「泊天草洋」の詩や耶馬溪図巻のほか、九州遊歴で残した詩・書画や関連資料を一挙公開します。当館初公開の作品多数！

展示会の概要

1. 趣旨

江戸時代後期を代表する文人の一人である頼山陽にとって、九州遊歴で出会った人や見聞したものは、彼の詩文や書画に大きな影響を与え、「泊天草洋」の詩や耶馬溪図巻を始めとする数多くの作品が生み出されました。

本展では、頼山陽の九州での足跡をたどるとともに、九州遊歴で残した詩書画や関連資料を通して、彼の感興に迫っていきます。

2. 会期

10月18日(木)～12月2日(日) [開館時間] 9:30～17:00 (入館は16:30まで) [休館日] 月曜日

3. 会場

頼山陽史跡資料館(広島市中区袋町5番15号)

4. 入館料

一般 300円(240円), 高・大学生 220円(180円), 小・中学生 150円(120円) ※()内は20名以上の団体料金

文化の日(11/3)はどなたも入館料無料, ひろしま教育ウィーク(11/1～11/7)は小中高生の入館料無料

5. 関連行事

① 展示解説会

展示の見どころを学芸員がお伝えします(通常の入館料が必要です。)

[日時] 10月20日(土)・11月17日(土)・11月24日(土) 各13:30～

② 文化講演会

[日時] 11月4日(日) 14:00～15:30

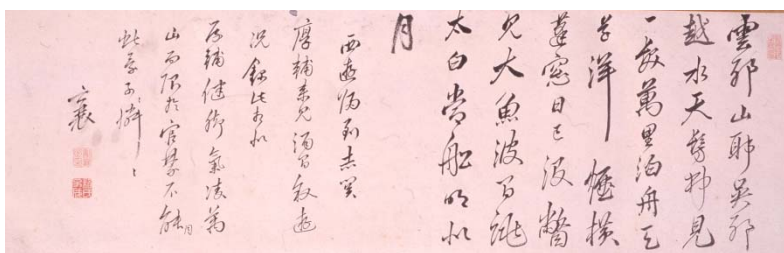
[会場] 合人社ウエンディひと・まちプラザ(広島市中区袋町6番36号) 6階マルチメディアスタジオ

[講師] 谷口 匡 氏(京都教育大学教授)

[演題] 「漢詩人 頼山陽の九州漫遊」

[定員] 100名(定員になり次第締め切り)

[申込] 公益財団法人 頼山陽記念文化財団(☎ 082-542-7022)



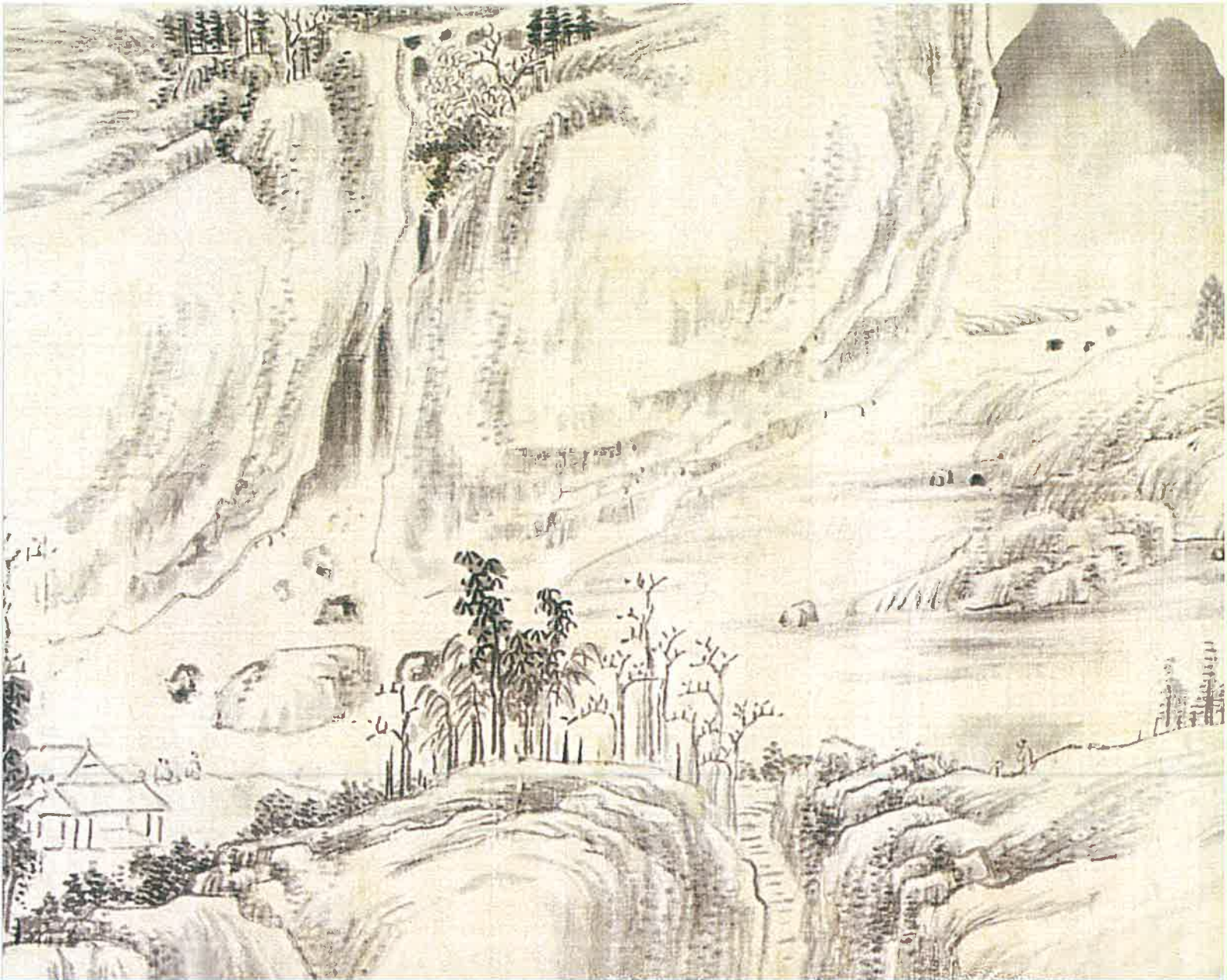
「泊天草洋」頼山陽書(下関市立美術館蔵)

【担当】

頼山陽史跡資料館 主任学芸員

電話:082-298-5051

e-mail:rhkraisanyou@pref.hiroshima.lg.jp



耶馬溪図巻(竹下本:部分)頼山陽筆 個人蔵

平成30年度 企画展

頼山陽と九州

平成30年 10月18日(木)~12月2日(日)

- 主 催 頼山陽史跡資料館
- 協 力 公益財団法人頼山陽記念文化財団
- 開館時間 9時30分~17時[入館は16時30分まで]
- 休 館 日 月曜日(ただし祝休日は開館し、翌火曜日が休館)
- 入 館 料 一般 300円(240円) 大学生・高校生 220円(180円) 小・中学生 150円(120円)
()は団体20名以上の団体料金
- 展示解説会 10月20日(土)・11月17日(土)・11月24日(土) 13:30~ (通常の入館料が必要です)



頼山陽史跡資料館

〒730-0036 広島市中区袋町5-15 TEL/FAX 082-298-5051
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/raisanyou/>

【交通案内】

- JR広島駅から15分
- 広電電車「紙屋町経由広島港線」袋町下車すぐ
- 広島バス「広島港線」袋町下車すぐ
- 広電バス「広島西飛行場線」袋町下車すぐ
- アストラムライン本通駅下車3分

今年（二〇一八年）は、江戸時代後期を代表する文人の一人である頼山陽が九州を遊歴してから二百年という節目の年にあたります。

九州遊歴は、頼山陽にとつて人生の転換点となった一大事業でした。その道中であ会った人や見聞したものは、彼の詩文や書画に大きな影響を与え、数多くの作品が生まれました。「泊天草洋」の詩や耶馬溪図巻にみるスケールの大きさは、九州の地でなければ生まれなかつたと言っても過言ではありません。

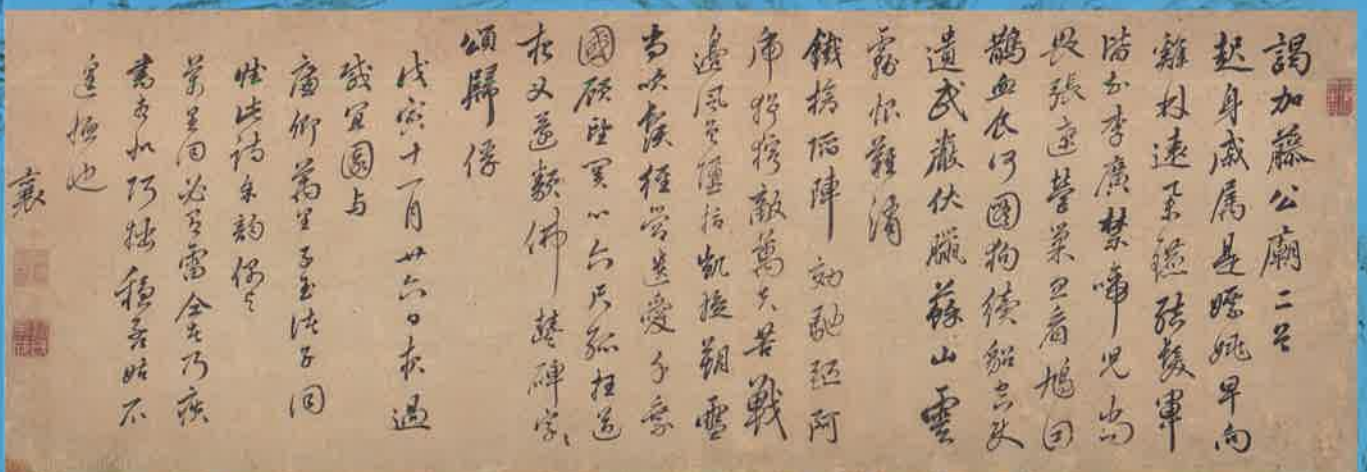
本展では、頼山陽が九州旅行で残した詩書画や関連資料を通して、彼の感興に迫っていきます。

是非御覧ください。

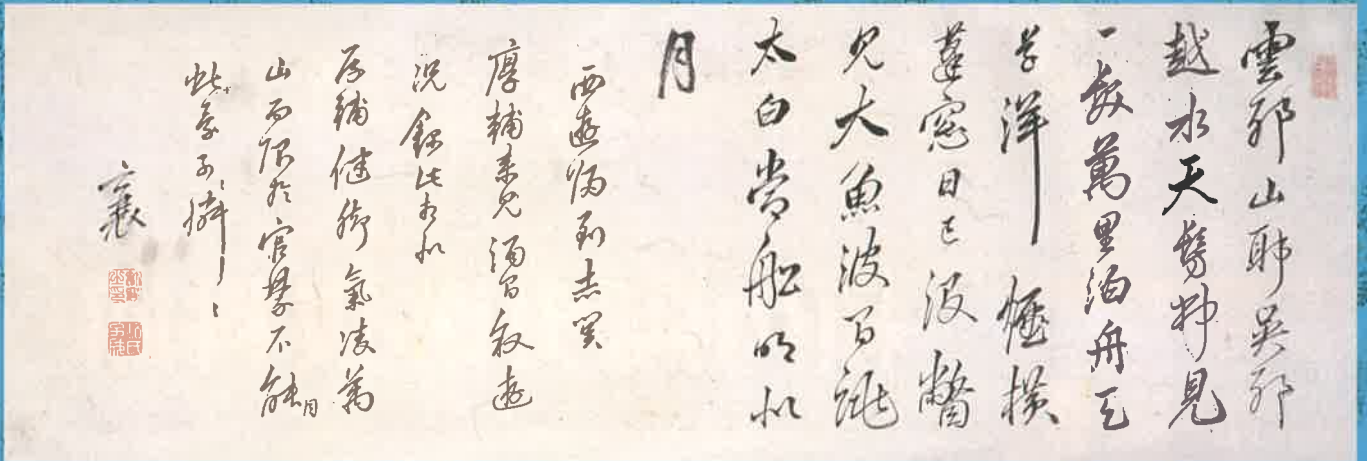
- 【展示構成】
- I 山陽漢詩紀行
 - II 耶馬溪図巻をめくって
 - III 後日譚



耶馬溪図巻（雲華本・複製）（部分） 当館蔵



「謁加藤公廟二首」 頼山陽書 日田市（咸宜園教育研究センター）蔵



「泊天草洋」 頼山陽書 下関市立美術館蔵